

した取り組みを進め、地域課題の解決に向けて地域が主体となって取り組む体制づくりを支援してまいります。

施設改修では、老朽化しています中央公民館の暖房設備及び講堂の音響照明機器の改修を行ないます。また、勝山公民館の老朽化に伴い、旧勝山小学校の有効活用として公民館に転用することとし、勝山地区で検討いただいた改修要望を最大限取り入れて改修工事を行ないます。

## 社 会 体 育

**置**戸町から初めてのプロ野球選手となりました佐藤峻一選手の活躍に全ての町民が大きな期待を寄せています。また、プロ野球だけではなく、彼が野球を始めた野球少年団、さらには置戸のスポーツ全体への関心が高まる良い機会でもあります。この機会を逃さず置戸町のスポーツ振興、とりわけ少年スポーツ活動の振興に努めてまいります。

また、小学生低学年の体力と運動機能の向上のため平成24年度より始めました「おけとわんぱくクラブ」についても、専門家の指導のもと、より効果的な活動内容となるよう本年度も推進してまいります。

高齢者をはじめ多くの町民の健康保持や健康志向の高まりから、軽スポーツや健康体操教室を充実させ開催してきました。今後も、町民の希望を取り入れた新しい種目の教室を開催するなど、町民の皆さんがスポーツに親しむ機会を提供いたします。

施設関係では、町営野球場のバックネット張り替え、及び観覧席の塗装など所要の改修を行ないます。

## 森 林 工 芸 館

**昭**和58年に誕生したオケクラフトは、今年30周年を迎えます。プレ30周年事業として昨年開催した「DOMA秋岡芳夫北海道置戸展」に続き、本年は実行委員会を中心に各種記念事業を開催する予定です。現時点での計画では、5月のワークショップを皮切りに11月の記念セミナーに向けて各種事業を展開する予定ですが、翌年3月の年度末まで継続していく事業も予定されています。

施設設備関係では、森林工芸館の男性用トイレの洋式化改修と女性用トイレへのベビーシート設置をはじめとして、昭和63年の開館以来使用してきた設



オケクラフト

備関係の改修や修繕、研修作業用備品関係の更新を行います。共同工房では今後の使用を考慮し、建物中央にある共有部の天井を低くするとともに、水道配管の一部を改修します。また、どま工房では、利用される方から要望が出されていた屋外の案内看板を新設します。

## 生涯学習情報センター

**第**3期生涯学習情報センター運営3ヶ年計画の初年度を迎え、計画を確実に推進しながら、地域図書館機能を高め、さらに町民に愛され、慕われる「本のあるみんなの広場」としてのセンターづくりを進めてまいります。

地域資料の整備の一環として、置戸の発展に尽された先人達の声を収録し後世に残す「古老の声の録音」は、旧図書館時代に取り組み、その後、郷土史研究会を経て「置戸の歴史を語る」として生涯学習情報センターが引き継いできました。

これまで収録してきた先人達の声を、平成27年に迎える開町100年にあわせて、置戸町100年の歴史を先人達の証言で編集し発行するため、収録テープの活字起こし、編集委員会の設立等準備を進めてまいります。

## 学 校 給 食

**近**年、偏った栄養摂取や朝食欠食などの食生活の乱れから、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化しています。このため、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるよう、積極的に食育に取り組みます。また、学校給食の適切な衛生管理と古い調理機器の更新を図り、安全で安心な給食の提供に努めるとともに、地元食材を積極的に取り入れ、季節、行事などに配慮しながら、地域の特色を活かした学校給食を実施いたします。